

平成28年度第2回 鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

- 1 日 時：平成28年5月23日（月）
午後3時～午後5時
- 2 場 所：鹿島区役所 大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】 14名

五賀和雄、丹野常昭、多田和夫、松野豊喜、大塚悦子、
豊田ミサ子、鈴木直門、星ちづ子、但野喜直、西 道典、
菅野行雄、前田典郎、渡部裕幸、高橋雅美

【欠席委員名】 1名

渡部 喜典

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2 会長あいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

五賀会長が会議録署名人に大塚悦子委員と豊田ミサ子委員を指名しました。

5 議事

(1) 報告事項

①復興工業団地へのロボットテストフィールド誘致について

○五賀会長

それでは早速議事に入ります。

報告事項①復興工業団地へのロボットテストフィールド誘致について、担当より説明を求めます。

○経済部次長兼商工労政課長

(資料により説明)

○五賀会長

ただいま説明が終わりました。質問等ありますか。

○前田委員

ロボットといえば現在原発の中で作業をしていますが、企業、メーカーが開発研究してロボットを製造しています。今後国内ロボット研究はここだけになるのですか。それとも企業は今まで通り開発研究を行いこれは国で行うのですか。

○経済部次長兼商工労政課長

全体を把握しているわけではありませんが、廃炉ロボットについてお金の出所は国であると思いますが、こちらの施設のロボットの開発研究は自社で研究も行っていると思いますし、今後も行われると思いますが、テストフィールドを利用させていただき、動くかどうかの実験をしていただくなどそういう研究をしていくものと考えております。

○前田委員

研究施設ができることにより来訪者も増えると思われれます。その効果はどの程度見越しているのですか。

○経済部次長兼商工労政課長

実際具体的な数字の積み上げはしておりません。ここでいう波及効果ですが、例えば海外の方もおいでになると思われれますが、それぞれの施設で英語の表記が必要になるとか、宗教によっては食べられるものが決まっている。そういうことについても一緒に研究しながら、そういう方向の取り組み方法についても検討しながら波及効果を最大限地元へ活かしていきたいと考えて

います。

○菅野委員

何名くらい住むのですか。

○経済部次長兼商工労政課長

現時点での正式な数字は出ていませんが、100名以内であろうと見込んでいます。

○前田委員

ドローンやロボットについていくらで売るなど予定があれば教えていただきたいです。

○経済部次長兼商工労政課長

この施設の整備については135億円で行いますが、ここから生み出される製品の値段についてはまだわかりません。価格については当初高額なもので製品化され、安価になっていくものと思われま

○但野委員

平成27年で30億円の市場規模、これが平成42年には1000億円くらいとなっていますが、当然ロボットも進化していけばもっと早くピークが来てしまい、その後が続かない。または他のものになってしまうのではないかと思うのですがどうでしょうか。

○経済部次長兼商工労政課長

ここでいう市場規模は少子高齢化の中で人材不足による流通を担う一つの大きな柱になっていくという意味での市場規模1000億円であります。しかし、製品単価については大量生産が可能となれば安くなっていくと思いますが、市場が広がっていくということでの国の試算だと思われま

○五賀会長

他に質問等なければ報告のとおり了承することとします。

②ことぶき荘の財産処分について

○五賀会長

次に報告事項②ことぶき荘の財産処分について担当より説明を求めます。

○鹿島区産業建設課長

(経過について説明)

○鹿島区産業建設課農林水産係長

(資料により説明)

○前田委員

解体撤去費用はいくらですか。また、見積もりは何社からとりましたか。

○鹿島区産業建設課農林水産係長

解体撤去を実際は行わないので建設業者は1社からしか見積もりを取りませんでした。その金額は約1400万円でした。

○前田委員

ことぶき荘を利用している「NPO法人さぼーとセンターぴあ」には何人いてどのような仕事をしているのですか。

○鹿島区産業建設課農林水産係長

活動としては約20名の利用者がいまして、機織りによる自主制作の製造や花苗につける札へのバーコード貼りや球根のテープ貼り、Tシャツのプリントや高校野球で使う硬式球の補修などを施設で行っています。ことぶき荘以外では鹿島区内保健センターや社会福祉協議会施設及び公園等の清掃業務も請け負っています。

○前田委員

市で補助金は出しているのですか。また、出していた場合、金額はいくらぐらいですか。

○鹿島区市民福祉課長

おそらく出していないと思われます。

○西委員

ことぶき荘の財産処分について建物が使えない状態なので行うことだと思いましたが、NPO法人に貸しているのでついでに財産処分することによろしいですか。

○鹿島区産業建設課長

ことぶき荘の目的が農家高齢者が行う活動の支援でした。しかしこれについては真野交流センター等で今後は行えるので、目的が達成したと判断しこの用途を廃止することで第1回鹿島区地域協議会にて了承をいただきました。建物自体は残りますのでこの建物をどうするかということで、更地にして土地所有者へ返すのが基本ですが、今使っているNPO法人から雨漏り修繕が必要な今の状態のままで良いので譲ってもらえないかという話があり、市の負担も考え対象団体へ譲渡したいということで今回の報告の件となっています。

○五賀会長

その他質問等なければ、報告のとおり了承することといたします。

(2) その他

①市長との話合いのテーマについて

○五賀会長

次に(2)その他 ①市長との話し合いのテーマについて事務局より説明

を求めます。

○事務局

前回の地域協議会の中で市長との話合いをしたいという意見がありテーマについて提出頂くようお話をしておりました。本日まで提出されたテーマはありません。この件についてどういったテーマでやるのか。別の形を持つのかについてお話をお願いいたします。

○高橋委員

今の小・中学校生が10年20年先も住みたいまちはこういうまちであるという子どもたちの意思確認ができれば、将来のまちづくりの手掛かりになると思いますのでそういう場が持てればいいと思います。

○五賀会長

子どもたちとの話合いということによろしいですか。

○高橋委員

話合いではなくとも、小中学校の先生に子どもたちからアンケート調査をやっていただいてそれがまちづくりの手掛かりになるかと思いました。

○五賀会長

大変重要なテーマですが、今回提案しているのは市長と地域協議会の話合いについてですので、今回の提案には沿っていないと思われま

○丹野副会長

震災前と比べてほぼ同等の人数の子どもが戻ってきています。そこで起きた問題が14行政区のうち小池、櫛原は鹿島小学校に通っていますが、御山行政区の小学生は0名となったことです。車川には小学校に通う子どもたちが3名いますが、その子どもたちが卒業すると0名となります。以前小池、櫛原の子どもたちは上真野小学校に通っていました。現在、まちづくり委員会や敬老会等の行事については小池、櫛原の方々も上真野地区で参加しておりますが、小学校については鹿島小学校に通っている状態です。私の意見としては小池、櫛原の子どもたちを上真野小学校へ戻してもらいたい。というのが1点。もう一点は上真野保育園について幼保一元化の話があり、震災でうやむやになってしまいました。もし、幼保一元化するのであれば車川の公会堂と郵便局の場所を使い保育園を広げて、今の出入り口を塞いで南側を出入り口にしてほしい。この2点です。

○前田委員

山麓線（県道34号線）の橋の拡張、橋の架け替えについてどうなっているのですか。

○丹野副会長

地権者の反対や仕様書の変更による設計のやり直し等により工事が遅れま

したが、相双建設事務所の話ですと設計は3月にできるという回答でした。

○鹿島区産業建設課長

今ある橋の東側に歩道を付けるということで、川の中にある橋台を平成28年度中に発注し順次歩道はできていくと思います。道路の拡張について県で地権者の了承を得るため誠意努力している状態です。

○菅野委員

南相馬市で事業をやっていくのが難しい状況となっていく中で、日本もグローバルな企業化をしないと生き残れない、加えて観光立国となれば「英会話が重要」となってくると思われます。また、老人が多くなるので「老人と子どもの融合の施設」があれば昔遊びを老人が子どもに教え、待機児童の解消や老人のボケ防止になり老人がいきいきできるまちづくりとなるのではないかと考えます。また、子どもたちへ「道德教育・礼儀作法について徹底する」ことや「先生の質を良くする」など独特なまちづくりが必要なのではないのでしょうか。そうでなければ地方行政としても一気に衰退するという形になってしまいます。鹿島区としてテーマを設けるとすると関係なくなる内容ですが、市としてのテーマとすると大事なことだと思います。

○渡部（裕）委員

テーマの絞り方によると思います。例えば菅野委員が挙げたグローバル化に向けた市のもって行き方、見解についてと丹野副会長の挙げた云わば足元の具体的なことについてです。鹿島区地域協議会としてのテーマを絞る場合、足元をみてテーマを絞るのか、南相馬市全体を見据えるのとして絞るのかで考えると私としては、足元を見据えた具体的に市長へ話をしなければわからない点について絞っていった方がよいと考えます。

○松野委員

平成27年度に下水道の負担金の問題について市長へ要望書を提出しました。この件について市長とは気楽な話し合いがしたいです。

○前田委員

要望書の回答についてこの返事を直接市長から頂きたいです。正式なテーマとしてでなくてもよいのでお願いします。

○西委員

各委員が聞きたい内容を聞ける場として非常に期待しておりますので、大きいテーマとして鹿島区の実状ということにしてはいかがでしょうか。

○菅野委員

市長は鹿島区に来てお話される機会がありません。地域協議会であれば2～3時間話をして懇親会にも出席いただいて夜の懇親会ではざっくばらんに話す機会を頂きたいです。その方が一人一人意見を話せてよいのでは

ないでしょうか。また、このような形で市長が各地区の地域協議会を回りど
ういう現状なのか聞いて回るような長となることを望みます。

○丹野副会長

合併から10年が経ち、そろそろ南相馬市は1つだという考えを持った方
がよいと思います。原発事故の関係で20km、30kmの線引きで区割りされ
た感じになりましたが、それを解消する方法として南相馬市全体、例えば地
域協議会3区合同で視察研修へ行くなど合同での地域協議会の会議を持つこ
とを提案します。鹿島の地域協議会委員が小高のことは分からない、小高の
地域協議会委員が鹿島のことは分からないということが無いよう南相馬市が
1つになる時が来たのではないのでしょうか。

○前田委員

2～3時間会議を行い、懇親会で市長と仲良くなろうという意見に私は賛
成です。テーマをまとめるのは難しい状況なので事務局でも話があればお願
いします。

○事務局

前回市長との話し合いの場を持ちたいという意見が出された際お話をさせて
いただきましたが、市長が委員からの質問等に対して回答する場合、正しい回
答・やるべき事項というものになってしまいますので、テーマを決めていた
だき、担当部署が来て説明をする形で話し合いの場を設け、その他というこ
とで+α聞くのは良いと思いますが、ざっくばらんにということだけは避けて
いただきたいというのが事務局としての考えであります。

○五賀会長

挙げたテーマについて復興説明会が27日にありますのでその場で回答
をもらうというのも一つの方法だと思いますがいかがですか。

○西委員

今回は市長から正解の答えをもらうのではなく、市長へ鹿島区の実状を聞
いてもらう機会を与えてもらえればよいのです。テーマを決めた場合その内
容しか話ができなくなり、議会と同じになってしまいます。

○渡部（裕）

通常地域協議会を持つ際の意見ですが、毎回報告事項だけやって終わり
ということも少なくないので、毎回その他に委員が不満に思っていることや
質問などその他にテーマを設けてもらい、そこへ時間を割く形の地域協議会
の持って行き方も必要なのかと感じました。

○高橋委員

まちづくりについての話し合いをどこかでやっていただきたいです。

○菅野委員

意見について各委員から集約した方が良いのではないのでしょうか。

○丹野副会長

今まで出た意見を鹿島区で思っていることだということで市長へ話せばよいのではないのでしょうか。

○渡部（裕）委員

市長との話し合いは定期的に行われるのですか。

○事務局

1回を想定していました。

○区役所長

復興説明会は年2回を予定しています。説明、話し合いの場を設けているにも関わらず年々参加者が減っているのも、この場で説明会の話をしていただき、各々聞きたい話はそのような説明会の場を使っていただいで質問していただければと思います。ただ、地域協議会委員のみなさんが市長との話し合いをしたいという場合だと地域協議会としてまとまりをもって市長へ当たるべきと考えテーマを絞って下さいとお願いをしました。

○丹野副会長

私は幼保一元化をどうこうしていただきたいと思っているわけではありません。交通量が多いので上真野保育園の環境整備をお願いしたいのです。私は山麓線（県道34号線）の車川沿いを塞いで出入り口を南にする話し合いをしたいのです。

○前田委員

人口減少により子どもが減り行き着く問題が学校の統廃合であると思います。南相馬市全体として幼稚園、保育園、小・中学校の統廃合を今回のテーマとせずとも、5年後10年後考えなくてはならない問題として出てくるのではないのでしょうか。

○五賀会長

出されたものを絞って申し入れをするというのが大方の委員の意見であると思いますので絞りたいと思います。山麓線（県道34号線）の問題は県の管轄となるので市長へ話をしても県と掛け合うなどの話になると思います。ですので復興説明会で県の職員も来ていますので聞いていただければ回答も早くいただけるとと思います。

○丹野副会長

上真野保育園の環境整備を私はお話したいので南相馬市の保育園ですので問題ないと思います。また小池、檜原を上真野小学校に戻すということと戻す場合スクールバスの使用についてもお話したいです。

○前田委員

小池檜原はどうして鹿島小学校に通うようになったのですか。

○丹野副会長

やはり交通の便であると思います。

○前田委員

上真野小学校に戻すとなった場合条例や規則を変更しなければならず難しいのですか。

○西委員

小池分校が廃校となった時点で小池の方は鹿島に来て上真野に来てどちらでもよくなったので家族などで選んで通う学校を決めたのだと思います。

○丹野副会長

こういうことは地域住民の意向が第一優先だと思われます。

○五賀会長

私からで申し訳ございませんが、正副会長へテーマをお任せいただければどうかと、また新たに皆さんの中でテーマがありましたら5月末まで提出を事務局までお願いしたい。基本的に懇談会を行うということで受けるか受けないかについてはとにかく申し入れをするということではいかがですか。

○委員

「異議なし」の声

○西委員

できれば懇親会もお願いします。

②鹿島区地域協議会だよりについて

○五賀会長

次に②鹿島区地域協議会だよりについて事務局より説明を求めます

○事務局

今回平成26年度、27年度で作成しましたが地域協議会便りを配布しました。事務局では今年度以降もこちらを作成していきたいと考えております。ただ、委員の皆様にご報告委員となっただきその中で意見踏まえながら作成していきたいと考えております。ちなみに、前回は4名の委員にご報告委員になっただきおりましたので今回も4名程度を考えておりました。4名ですと地域協議会委員としての任期が2年で、任期中に4回出すとして1回は作成担当となると思います。そのようなことでご報告委員の選出をお願いしたいという提案をさせていただきたいと思っております。

○五賀会長

地域協議会だよりを発行することよろしいですか。

○委員

「異議なし」の声

○五賀会長

4人の方を選出していただきたいと思いますが、自薦他薦問わずお願いします。

○前田委員

いつも女性にお願いしていただきましたので今回3名おりますので3名と丹野副会長の以上4名を推薦します。

○丹野副会長

事務局からの説明で4回発行するので地域協議会委員皆さん1回は委員になるのではないのですか。

○事務局

広報委員が4名いれば地域協議会委員としての任期が2年ですので年2回の発行となれば4回発行することとなり、広報委員4名いればその中で一人1号ずつ担当できるということで説明させていただきました。作成については広報委員の中で決めていただいで構いません。

○丹野副会長

4名の委員は2年間ずっと広報委員なのですか。

○事務局

それに関しては地域協議会委員の皆さんの決めようですのでこの話合いの場で決めていただければと思います。

○丹野副会長

1回ごと交代ではどうでしょうか。

○五賀会長

4名は崩さず、責任あるポジションを4名の中持ち回りにするのはどうでしょう。

○前田委員

私が提案した内容に異議があれば次々提案してください。私は提案しただけですので。

○丹野委員

公平1号ずつ4名交代ではいかがでしょうか。

○五賀会長

ではまず初めの4名を選んでください。

○前田委員

順番に前からでも後ろからでも選んだら良いのではないのでしょうか。

○事務局

では私どもで作成した名簿で1, 5, 9, 13の方へ1回目お願いすることで次回以降番号をずらしていく形で後ほど会長とご相談させていただくという

ことでもよろしくお願いいたします。

○委員

「異議なし」の声

○五賀会長

そのようにしたいと思います。

③視察研修について

○五賀会長

次に③視察研修について事務局より説明を求めます。

○事務局

本日アンケートを配っております。

市としては視察研修を行うことで考えております。ただ、委員の過半数が出席することを条件とさせていただきます。研修は1泊2日を考えております。今回のアンケートでは研修のテーマ、時期、研修先、その他を記入いただき、意見を集約しまして次回の協議会の際再度検討していただくということで6月20日まで提出をお願いしたいと思います。

○前田委員

小高、原町は何名くらい研修へ参加しているのですか。また、7名の参加だった場合は行かないこととなるが、鹿島単独ではなく小高や原町と合同で行くことはできないのでしょうか。

○事務局

小高、原町の状況ですが、参加人数は1ケタ台でどうにか過半数を超える程度で行けている状況です。他の協議会との合同で研修については事務局同士で話し合いをしておりますのでできるかどうか含めまして検討させていただきます。しかし、区ごとの考えもありますのでできればこのメンバーで行いたいと考えております。

④次回協議会の日程について

○五賀会長

次に④次回協議会の日程について事務局より説明を求めます。

○事務局

6月は議会がありますし、提出されています案件もないことから基本的に7月に開催したいと考えております。そこで事務局では7月19日（火）午後1時30分で提案します。

○五賀会長

次回の日程は7月19日（火）午後1時30分から開催ということによろ

しいでしょうか。

○委員

「異議なし」の声

○市民福祉課長

前田委員からご質問がありましたNPO法人さぼーとセンターピアに関する市からの補助金についての回答です。ことぶき荘の財産処分に関しては市からの補助金はありません。就労継続支援事業所であるので市からの業務をお願いしている部分は市から出しております。

○前田委員

常磐自動車道の4車線化で南相馬市の部分が該当していないのは本当ですか。本当だった場合、要望はしているのですか。

○区役所長

今回の4車線化の発表では該当しておりませんでした。要望は当然しております。

○前田委員

確認ですが、山元ICから広野ICまでは4車線化には含まれず、市としては要望をしているということによろしいですか。

○事務局

その通りです。

○前田委員

分かりました。

○五賀会長

その他なければ、終了します。

これをもちまして本日の議会は終了しました。長時間ご苦勞様でした。

5 閉 会

以上のとおり相違ありません。

会

長

五賀 和雄

会議録署名人

大塚 悦子

会議録署名人

豊田 ミチ子